

第2回天草市総合計画策定審議会議事録

- 1 開催日時：平成22年8月11日（水） 午後1時30分開会
- 2 場 所：天草コミュニティ防災センター（中央消防署3F）
- 3 出席者：
委 員 上野委員、木下委員、島田委員、島山委員、中川委員、中島委員、
野上委員、浜委員、春木委員、平塚委員、福本委員、益田委員、万田委員
（欠席 亀子委員）
天草市 金子企画部長、塩田企画課長、小川企画調整係長、他関係各課
- 4 提出資料：資料1 後期基本計画・施策内容調書
資料2 施策体系図（素案）
資料3 財政健全化計画
資料4 天草市の将来人口予測
資料5 天草市観光客の推移
資料6 天草市総合計画策定審議会運営規程（案）
資料7 後期基本計画策定スケジュール案

5 内 容

〔1〕開会

〔2〕会長あいさつ

（会長）

本日は産業振興と、観光へ入っていきたいと考えている。委員の皆様には一言ずつお話しいただく場面を作りたいと考えている。

〔3〕市長あいさつ

公務により市長不在のため、割愛。

〔4〕議題

（運営規程について）

前回決定された会議の公開・傍聴等について事務局案のとおり運営規程を決定。

（議事録について）

前回審議会の議事録（概要版）について、事務局案のとおり決定。ホームページ上で公開することとされた。

議題1 後期基本計画について

議題 1 - 財政健全化計画及び人口推計について

事務局より、配布資料に基づいて財政健全化計画、及び人口推計について説明。

(会長)

人口が減少していく問題は、ほぼ解決不能。今後20年くらいまでの人口は、ほぼ予測通りに推移することは間違いないが、そのような厳しい現状を踏まえた上で、これからの政策・計画づくりに入っていかなければならない。

(委員)

目的別の歳出を見ると、民生費が圧倒的に多いが、人件費等を減らすのは難しいと思うので、衛生費に注目したい。毎年ゴミに20億程度かけている。さらに、老朽化した施設を新築するのに何十億もの投資が必要になる。工夫していけば減らせるのではないかと思うので、検討していきたいと考えている。

(会長)

貴重な意見だと思う。ゴミ関係については、施策の柱6「環境と共生のまちづくり」のところで具体的な話をしたい。

議題 1 - 後期基本計画の構成について

事務局より、後期基本計画の構成について説明。前期基本計画の見直しを基本とすることから、前期基本計画同様に第1章～第5章までの章立てとすることを諮った。

(会長)

全体の構成や「施策の柱」等については、基本構想で定められているものなので変更は考えず、「主要施策」や「施策の内容」について見直していきたいと考えている。

(委員)

計画書を読む中で、似たような言葉が何度も出てきたりしてわかりづらく、部署ごとのタテ割りで作成されている計画だと感じた。市民の関心は、「どこが」やるのかということではなく、「どのように」やるのかということにあるので、何がやりたいのかが分かるように、ヨコ割りの計画ができないのかと感じた。

(会長)

おっしゃる通り、我々が課題を認識できないと審議はできない。しかし、大きな組織は分業体制で動くので、専門的に進めるためにはある程度タテ割りになってくるのは仕方がない。総合計画の中で、組織がヨコ割りで取り組める仕組みを書き込めれば理想的である。

(委員)

配布された資料を見て、「戦略あって戦術なし」の計画だと感じる。課題をどのように解決するか、という方法論について審議会で議論したい。さらに、市の全体の状況把握についての資料が足りないと感じた。

(会長)

確かに、配布資料を見ると希望は多く書いてあるが、それに向かう方法が書いていない。また、現状を把握し、それをどれくらい解決していくかという「成果指標」が足りないと感じる。不足の部分については、当審議会から各担当部署に要求していきたい。

議題1 - 「 . 豊かな産業づくり」について

事務局より、配布資料「施策内容調書」について説明。

(会長)

天草市に限らず日本全体が、身の丈以上の支出で借金を抱えている。今勢いをつけなければ後は予算の削減が目に見えているが、全分野が少しずつ削減するのか、思い切って特定の分野に集中的に投資するのもも含めて検討していく必要があると考えている。各委員の皆様が、施策の体系・内容について思われることはあるか？

(委員)

農業の分野に関しては、現状と課題はよく捉えてあると思う。しかし、どの課題も解決は難しいと感じている。出来る範囲でやっていかなければならないと思う。ここで我々委員が出した意見は所管の計画案に反映されていくのか？

(会長)

審議会の意見は企画課を通して各所管課に届くようになっている。

(委員)

水産業関係では、赤潮対策とイルカ対策（観光産業との調整）が大きな課題だと感じている。赤潮は2市1町の取り組みだけでは限界があると思う。

(事務局《水産課》)

赤潮について、国は独立行政法人、県は水産試験場に委託して発生についての調査が実施されている。市としては県・漁協と連携して塩の散布等対策を実施している。イルカについては観光業との調整が必要で難しいと思うが、イルカの嫌がる電波発生装置などを利用した対策を検討していければと考えている。

(会長)

基本計画に記載されることで事業課としては予算要求ができるわけで、「どのように実施するか」という政策の手段の部分もしっかり書いておいていただきたい。逆に、国や県が実施しており、市がやる必要がないものは、計画書に書く必要はないと考える。

(委員)

今後、人口を含め市の経済指標はすべてマイナスになっていくので、それをどのくらい食い止められるかという事だと思う。漁獲高の減少に関しては、従事者が減ったことだけでなく、漁の方法も関係していると考えている。特に牛深の商工業は漁業がベースにあるので、漁業の衰退は様々な産業に関連してくる。商工業の抱える問題はその他にも多いが、行政ができる事は限られているため総合計画に書き込む事項も利子補給など側面的な部分にならざるを得ないのかなという気がする。

(会長)

産業に関しては、現状の政策では効果が薄いということは分かっている。腹痛に風邪薬を出しているようなものかもしれない。それぞれの政策課題に対し、深く議論したいところだが時間がないうえ、細部について委員それぞれが思われていること、感じていることがあればペーパーでも出していただきたい。事務局・担当課等に投げかけて、回答を準備してもらいたいと思う。

(委員)

自分は、天草外の学校を出て、父親が商売をやっていたので天草に帰ってこれたが、天草は公共事業でやってきたため、公共事業が減ってきた現在にあっては雇用の確保が課題になっていると思う。新産業や、新たな分野で一歩が踏み出せる情報提供なり、支援なりができれば良いのではないか。

(会長)

調査を見ていると、似たような語句が多く出てきて、まとまらない作文を読んでいる気になる。計画書の内容については抜本的に見直しが必要ではないか。特に、どうやって達成するか書いていない計画はあまり意味がないので、成果指標については見直しをお願いしたい。例えば天草ブランドについて天草緑竹や天草大王は、インパクトのある指標なのか？天草のブランドと言え、みかんや魚や米なのではないかと思う。

(事務局《農業振興課》)

天草緑竹は4年ほど前に導入され、当初は1ha以下であったものが現在4ha程度まで規模が拡大している。天草大王についても生産拡大を図っている。どちらも人気の商品で、供給が追いつかないほどであり、これから「天草ブランド」として政策を打っていくうえで、有力な商品であると考えている。

(委員)

ブランドに関して、天草の特産品は、車エビにしても天草大王にしても一般の人に手軽に手に入らない。もう少しお金をかけずに手軽に手に入る物で、観光にも繋がるものでブランド戦略を打っていくべきではないか。

(会長)

他に気づいた点を挙げれば、雇用の促進について、非常に重要な政策であるが側面支援やジョブカフェ・ランチの活用と書いてあるが、どのように支援・活用するのかという方法が書いていない。担い手育成の支援についても同様。また、福祉産業については、本気で福祉産業で雇用を創出しようというなら係や課の設置が必要だと考える。ちょうど見直しの時期なので、福祉サービスの中に書き方を変えて入れ込むか、計画から下ろすかした方がよい。

(副会長)

計画全体を見ていて、協議会を設置するということが何箇所か書いてあるが、ほとんど協議だけで終わっている場合が多いので、その他の具体的な対策も考えてほしい。例

例えば学校給食での地産地消については、供給体制を抜本的に見直さないと実現しないのではないかと。また、アンテナショップを開設すると書いてあるが、売り場を開設してお客さんを待つというよりも、こちらからイベント等に便乗して産品を売りに行くなど、積極的に打って出る姿勢が必要ではないかと思う。

(会長)

雑ばくな意見出しになってしまったが、全体的に見直しをお願いする部分については事務局と打ち合せながら調整するとして、出席いただいた担当課で今日お聞きいただいた個別の意見については、参考にされて細部の見直しを行っていただきたい。

議題1 - 「 . 魅力ある観光地づくり」について

(会長)

観光分野を産業づくりとわざわざ離して柱立てしたのは、天草市の観光産業が、まだ開発の余地があり、将来有望な産業との期待からだ。しかし4年間やってきて、観光客は増加するどころか減少している。どのような施策を打っていけばいいか、委員の皆様のお知恵を借りながら議論していきたい。

(委員)

産業分野は、漁業や商工業など各地域の特性があるので、それぞれの地域での議論も必要かと思うが、観光に関しては天草全体での議論が必要な分野ではないかと思う。

(会長)

本日、熊本大学で天草市の観光振興について調査している大学の院性が傍聴に来ていますが、調査結果についてまとめた簡単な資料があるのでこの場で報告させたい。

【大学側より、資料配布のうえ報告】

(会長)

「宝島」という戦略で観光政策を打ってきているが、まだ外部の人は天草を「宝島」というイメージで捉えておらず、キリシタン文化のイメージが全国区である。計画書を見ると農家民泊やフィルムコミッション、ジオパーク推進などのメニューが挙げられているが、委員の皆様からご意見を伺いたい。

(委員)

計画の中にはハード面ばかりが書いてあって、ソフトについての記述がない。人の親切さなど、ソフト面も重要な戦力になる。また、外部エージェントとの連携も盛り込んでいかなければならないと考える。

(会長)

外部エージェントとは「Win-Win」の関係になることが大事で、双方が儲けなければ関係は続かない。そのような部分は、必ずしも市が主体とならなければならないとは限らないと考える。ソフト面の充実は極めて重要だが、いわゆる「おもてなし」に関して、天草だけでなく熊本全体が全国的には評価がとても低いのが現状である。

(委員)

食べ物がおいしかったり、人が親切だったりすると、「また来よう」という気になる。自分が本町に赴任していた頃に、地元の方の人柄や外部から来られた方へ対する接し方に感動したことがあった。そういったものが観光に活かされればと思う。

(委員)

農家民泊などは、もてなしや郷土料理など、大規模なホテル等の施設にはないソフト面が充実しているのではないかと思う。

(委員)

天草地域は産業も観光にとっても、交通アクセスが問題だと思う。

(会長)

アクセスに関しては確かに不利な地域であるが、これから先も良くなっていく可能性はあまりない。逆にそのアクセスの悪さを、「泊らなければならない地域」として逆手にとっていく戦略が必要かもしれない。

(委員)

最近社会福祉協議会に、高齢者の観光についての問い合わせが2件あった。高齢化社会になって、観光と福祉が結びついてきているという実感がある。バリアフリーへの対応など、今後への課題もあるのではないか。車いすの扱いや障害者へのケアの仕方などの講習と、天草の食材や文化を織り交ぜた福祉観光のメニューが売り物にならないか、検討していきたいと考えている。

(会長)

今回の案の「天草型ツーリズム」の中で医療・福祉・健康施設等を生かしたツーリズムの実践が書かれているが、社会福祉協議会等と連携すれば実現可能性のある分野だと感じるので、担当部署においては検討いただきたい。

観光に関して気づいた点を挙げれば、広域観光拠点の整備やネットワーク化、観光ボランティアガイドという言葉が書かれてあるが、具体的な取り組みを書いてほしいと感じた。また、市と観光協会の役割の違いはどのようなところにあるのか？観光客の統計を見る限りでは観光政策はうまくいっていないとしか言いようがない。足りない部分は何かを感じているか？

(事務局《商工観光課》)

市の役割は、観光を行政的に支えていくことであり、実際に観光客を呼び込む様々な事業を実施する主体は観光協会だと考えているが、今後市と観光協会との役割分担はさらに明確化していく必要があると考えている。不足している部分としては、成果につながる様々な事業を実施する組織体制が確立していないことだと感じている。

(委員)

観光行政に関しては、民間との対話が足りないと思う。問題を解決するにはまず課題を見つける必要があるが、民間との対話を通じて天草の観光に関する課題を洗い出す作

業をしていないのではないか。パンフレット作成一つとっても、似たようなものが多く無駄ではないかと感じている。

(副会長)

観光協会は、市から職員が外向しているし、市の補助金が予算の大部分を占める体質でもあり、自ら活動費を作り出す体制にならないと本当に観光を活性化させる事業はできないだろうと思う。今のままでは天草の観光ビジョンが見えてこない。

(委員)

そもそも観光協会の位置自体が分かりづらい。駅もない土地でもあるし、これからは、観光客にはインターネットを活用していただくほかにはないと思う。

(会長)

今後、審議会を進めていくにあたって細かい作文の訂正のようなものは考えていないが、このように委員の皆様から出していただいたご意見はなるべく反映していくようにしたい。事務局側には、委員の皆様の意見を踏まえ、成果指標を再検討したうえで再度資料の提出をお願いしたい。

(委員)

インターネットの話が出たので、次回の審議会までに天草市と観光協会のホームページアクセス数と観光パンフレットの種類・金額等がわかれば資料を出していただきたい。

(会長)

まだ委員の皆様には意見が出しつくされていないと思うので、次回までに事務局から計画に対する意見を出す様式を送付いただければと思う。メールなり FAX なりで事務局に意見をお寄せいただきたい。

今回は産業・観光と駆け足で見てきたが、これらは必ずしも市がやらなくてもいいもので、行政側から仕掛けて伸ばしていく分野。これから出てくる福祉や社会インフラ等については、これらがないと暮らしが厳しくなるもので、粛々とやり続けなければならない分野という違いがある。それぞれ委員の皆様の意見を聞きながら、よい計画にしていきたいと考えている。

議題2 今後のスケジュールについて

事務局より、配布資料に基づいて今後のスケジュールについて説明。次回の議題を施策の柱 ~ とすること、次回審議会を9月13日(月)13:30~とすることで決定。

(会長)

あと2回で全て審議するというのはなかなか難しいと考えているが、場合によっては2時間を超えて審議することがあるかもしれない。ご了承いただきたい。

(委員)

一つ確認したい。我々の仕事は、例えばそれぞれの専門分野で、計画の文言まで提言をしなければならないのか、それともこの場で審議をすればそれで良いのか。

(会長)

基本的には全体の書きぶりまで事務局に伝える事ができればと考えている。文言の修正をしていただいても良いが、この視点が抜けているとか、こういう表現が良いということを書いていただいても構わない。

(委員)

意見は、前もって事務局に言っておいても良いとのことだが、何日前くらいに提出すれば良いか？

(事務局)

一週間前には会議資料を委員の皆様にお配りするので、10日くらい前にはいただければと思う。

〔5〕閉会

午後3時40分、閉会。